

平成29(2017)年度 予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額

歳入	405億2,600万円	△2.8% (前年度当初予算比)
歳出	426億6,600万円	+2.3% (前年度当初予算比)
財源不足額	21億4,000万円	△1億1,400万円 (前年度当初要求時比)

歳入のうち、基幹である市税は、個人所得割や固定資産税(家屋)及び、固定資産税(償却資産)等の増収を見込んだため、市たばこ税や法人税割(現年度分)の減収をカバーし、1億100万円(1.0%)の増額要求です。しかし、龍ヶ崎地方塵芥処理組合基幹的設備改良工事負担金への地域振興基金繰入の減などによる基金繰入金の減、庁舎新附属棟建設事業等の事業終了による起債の減などにより、歳入予算は405億2,600万円、11億7,800万円(△2.8%)の減額要求となっています。

歳出については、特別会計への繰出金及び生活保護・医療・介護・施設型給付費などの社会保障関係費の伸びを中心に、公共施設の更新等の需要の増加もあり、歳出予算は426億6,600万円、9億6,300万円(2.3%)の増額要求です。

これらにより、要求段階での財源不足額は21億4,000万円(前年度当初要求時比1億1,400万円の縮小)です。今後の予算編成過程でこの収支ギャップを解消していきます。

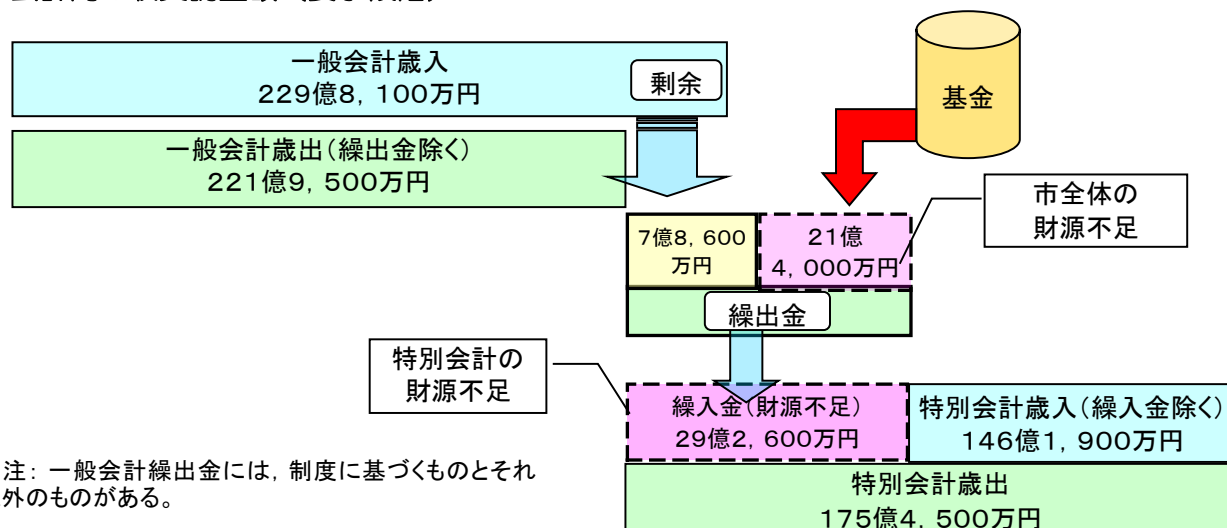
2. 会計別要求状況

(単位:千円)

会計名	平成29年度要求額		平成28年度 当初予算額	比較		増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	22,980,780	25,121,317	24,356,000	△1,375,220	765,317	△5.6	3.1
国民健康保険事業	9,034,000	9,034,000	9,035,000	△1,000	△1,000	0.0	0.0
公共下水道事業	2,256,330	2,256,330	2,281,200	△24,870	△24,870	△1.1	△1.1
農業集落排水事業	70,666	70,666	64,700	5,966	5,966	9.2	9.2
介護保険事業	4,899,637	4,899,637	4,713,500	186,137	186,137	3.9	3.9
障がい児支援サービス事業	18,770	18,770	37,200	△18,430	△18,430	△49.5	△49.5
後期高齢者医療事業	1,243,586	1,243,586	1,192,100	51,486	51,486	4.3	4.3
介護サービス事業	22,058	22,058	24,000	△1,942	△1,942	△8.1	△8.1
特別会計合計	17,545,047	17,545,047	17,347,700	197,347	197,347	1.1	1.1
総計	40,525,827	42,666,364	41,703,700	△1,177,873	962,664	△2.8	2.3

※注:各特別会計の収支ギャップ(赤字)は、一般会計からの繰入金で調整。

○会計間の収支調整額(要求段階)



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)	
歳入	229億8,100万円	+0.9%	146億1,900万円	△1.5%
歳出	221億9,500万円	△0.2%	175億4,500万円	△0.6%
財源不足額	7億8,600万円		29億2,600万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

2. 特別会計繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	平成29年度 要求額	平成28年度 当初予算額	比較	増減率 (%)
国民健康保険事業	952,293	800,583	151,710	18.9
公共下水道事業	444,511	381,179	63,332	16.6
農業集落排水事業	49,883	42,919	6,964	16.2
介護保険事業	761,826	694,371	67,455	9.7
障がい児支援サービス事業	6,648	25,192	△18,544	△73.6
後期高齢者医療事業	707,966	688,098	19,868	2.9
介護サービス事業	2,698	5,509	△2,811	△51.0
合計	2,925,825	2,637,851	287,974	10.9

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額21億4,000万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、徴収率向上等による一般財源その他歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、平成29年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、平成29年度からを計画期間とする、当市の最上位計画である「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実行性を担保します。

【第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける5つの戦略】

- 戦略1 若い世代の希望の実現「若者・子育て世代の定住環境の創出」
- 戦略2 教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
- 戦略3 地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
- 戦略4 地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
- 戦略5 持続可能な行財政運営「将来につながる基盤づくり」

